

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立本栖湖青少年スポーツセンター	所管課	スポーツ健康課
所在地	南都留郡富士河口湖町本栖210	設置年月日 (改築年月日等)	昭和40年5月
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立本栖湖青少年スポーツセンター設置及び管理条例		
設置目的	豊かな自然とのふれあいの中で、青少年に集団宿泊生活及びスポーツ活動の機会と場を提供し、もって青少年の心身の健全な発達に寄与するため、本栖湖青少年スポーツセンターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	本館(事務所、宿泊棟)(宿泊73人)、新館(宿泊棟)(宿泊133人) 体育館(バスケットボール(バレーボール)コート1面) 運動場(400mトラック、フィールド)、キャンプ場(300人収容)		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)その他教育委員会が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)県立青少年センター:体育館、研修室・会議室、宿泊施設、運動場、屋内プール等 (2)富士北麓公園:利用者数154,102人  ※本栖湖青少年スポーツセンターは、富士北麓地域では唯一の宿泊施設を合わせ持つスポーツ施設である。
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	体育施設利用者数	15,300	17,377	19,998	
	キャンプ場利用者数	6,759	8,555	8,471	
	宿泊施設利用者数	16,789	14,713	16,774	
	利用者数合計	38,848	40,645	45,243	
	目標値	39,500	39,500	39,500	40,000
	目標値設定の考え方	過去3年間の平均を標準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。	過去3年間の平均を標準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。	過去3年間の平均を標準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。	H20年度より開催された大型イベントが本年度は開催されないため、H20年度の目標値を基準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。
	対19年度比	100.0%	104.6%	116.5%	103.0%

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	15,781,460	13,531,000	16,805,920	13,536,000
	指定管理者委託料	22,735,000	23,501,000	23,501,000	23,966,000
	その他				
	収入合計(A)	38,516,460	37,032,000	40,306,920	37,502,000
支出	人件費	19,681,111	19,956,000	19,714,303	20,401,000
	県への納付金				
	管理運営費	16,511,707	17,076,000	16,181,733	17,101,000
	(うち外部委託費)(B)	3,958,275	2,128,000	4,038,650	2,129,000
	支出合計(C)	36,192,818	37,032,000	35,896,036	37,502,000
収支差額(A-C)		2,323,642	0	4,410,884	0
外部委託比率(B÷C)		10.9%	5.7%	11.3%	5.7%
利用者一人当たりの経費		559	595	519	599

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年5月、7月、8月、9月、年末年始、実施方法:施設利用者へのアンケート、回答数:128人
-------	-------------------------------------------------------

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設・設備管理	69.3%	0.0%	11.5%	19.2%
②利用規程	53.6%	35.5%	2.5%	8.5%
③受付・接客	93.4%	0.0%	1.6%	4.9%
④食事サービス	21.9%	59.8%	8.2%	10.1%
⑤自主事業(年末年始営業)	72.2%	11.1%	11.1%	5.6%
各項目の平均	62.1%	21.3%	7.0%	9.7%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置又は改修してほしい施設及び設備に対して、体育館照明や、洋式トイレの増設、各部屋へコンセントの設置など大規模な改修要望が多かった。</li> <li>・食事については、改善してほしいという意見が多かった。</li> <li>・受付け・接客については、説明の不足、他団体のマナー改善の指導要望があった。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置又は改修してほしい施設及び設備については、県へ改善を予算要望していく。</li> <li>・食事については、委託業者へ厳しく指導を行った。</li> <li>・受付け・接客については、各団体へ事前にまたは、入所時に施設利用方法の説明をより丁寧に行った。</li> </ul>

## 6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	施設の運営業務については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
自主事業	計画どおり事業を実施することができた。リピーターも利用していただき「また来たい」という声もあった。今後も継続したい。	自主事業については事業計画書どおり業務が行われていることを確認した。 引き続き積極的に自主事業を計画し、利用者へのサービス向上に努めること。
利用状況	新型インフルエンザの影響もあり、キャンセルが多かったなか、イベントが入ったために事業計画の目標を上回った。 利用者数の大幅な増加は困難だが、県内外の高校や大学のクラブ・サークル合宿で利用していただけるようPR活動に努めていく。	利用者の拡大に繋がるよう、創意工夫したPR活動や情報提供に一層努めること。
収支状況	施設・設備の小修繕や施設敷地内の整備などは職員が行い、燃料や消耗品などは節約に努め、支出を抑えた。	利用者の安全性の確保や利便性の向上に必要な修繕や備品の購入を行うなかで、計画以上に支出を抑えていることは評価できる。
利用者満足度	施設面での改善要望には、即時に対応できないため、サービス面での改善に努めた。	施設は設置から40年が経過し老朽化しているものの、職員の親切な対応が利用者に評価されているものと思われる。食事の改善要望については、きめ細かく対応するよう指導した。今後とも利用者ニーズを把握し、サービスの向上に努めること。
運営目標の達成状況	<p>運営目標については、概ね達成している。 ①利用者数：目標 39,500人 実績 45,243人</p> <p>○本施設を会場とした大規模なイベントがあったため、利用者数が増加し、目標を達成することができた。また、本施設は富士山や本栖湖に面した立地など優れた環境条件を有しているため、更なる成果向上の可能性をもっている。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>維持管理業務、運営業務等については概ね適正に実施されている。また、センターは老朽化が著しい施設であるが、この管理の難しい施設を大きな事故もなく管理している点は評価できる。 今後は、一層の経費削減と増収に努めること。また、利用者ニーズを把握するとともに、利用者の意見には条例、協定等に基づき可能な限り対応すること。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>施設及び設備の老朽化が著しいため、今後はよりいっそう点検を細かく行い、事故の無いよう管理をし、経費削減と利用促進に努める。 また、利用者ニーズを把握し、対応していく。平成22年には利用者の意見に応え、乾燥機を設置した。</p>	

7. 管理体制(組織図)

